

宇都宮市 獣医師・薬剤師 キャリアパス

本資料について

獣医師・薬剤師の求められる業務経験や専門性等を分類・体系化し、どのような経験を積んで成長していくことが望ましいかを組織及び職員個人が認識を共有し、職員個人の能力開発や人材育成などのマネジメントのツールとして作成している。

【内容】

- 1 目指す職員像
- 2 求められる能力
- 3 行政職共通キャリアパス
- 4 獣医師・薬剤師キャリアパス
- 5 基本研修(行政職共通)
- 6 獣医師・薬剤師研修体系

※ 「行政職」とは、一般行政(事務)、技術職、資格職を指します。

技能労務職(学校調理業務や道路等の維持管理業務などの業務に直接従事する職種)や消防職は含みません。

1 目指す職員像

人材育成の方針 目指すべき職員像(宇都宮市人材育成基本方針より)

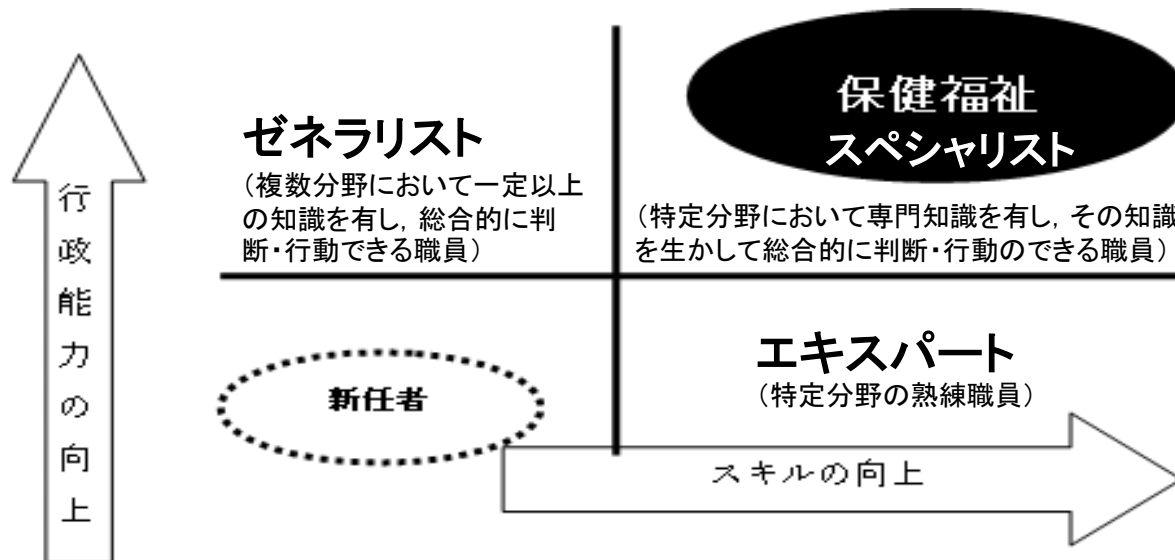
『自律・協働・共創型職員』

⇒ 市長のリーダーシップのもと、総合計画に掲げる本市の都市像の実現に向けて、地域や社会が抱える課題に対し、自らの使命と責任を自覚しながら、主体的に考え行動する力を持つとともに、職員同士が互いに尊重し支え合いながら、市民、地域団体、NPO、企業など多様な主体と信頼関係を築き、共通の目的に向かって協働・共創できる職員



- ◆『自律・協働・共創型職員』を基本に、時代と環境の変化や保健福祉の特有なニーズに対応し、従来の枠にとられない新たな視点で考え行動できる職員
- ◆主体的に自ら考え、新たな課題への挑戦意欲と行動力のある職員
- ◆高い専門性が求められる保健福祉行政にあって、専門分野に対する、深く幅広い視野と行政全般に対する職域を超えた総合的な思考力を持つ『保健福祉スペシャリスト』を目指すべき職員像とする。

【獣医師・薬剤師の育成方針】



2 求められる能力

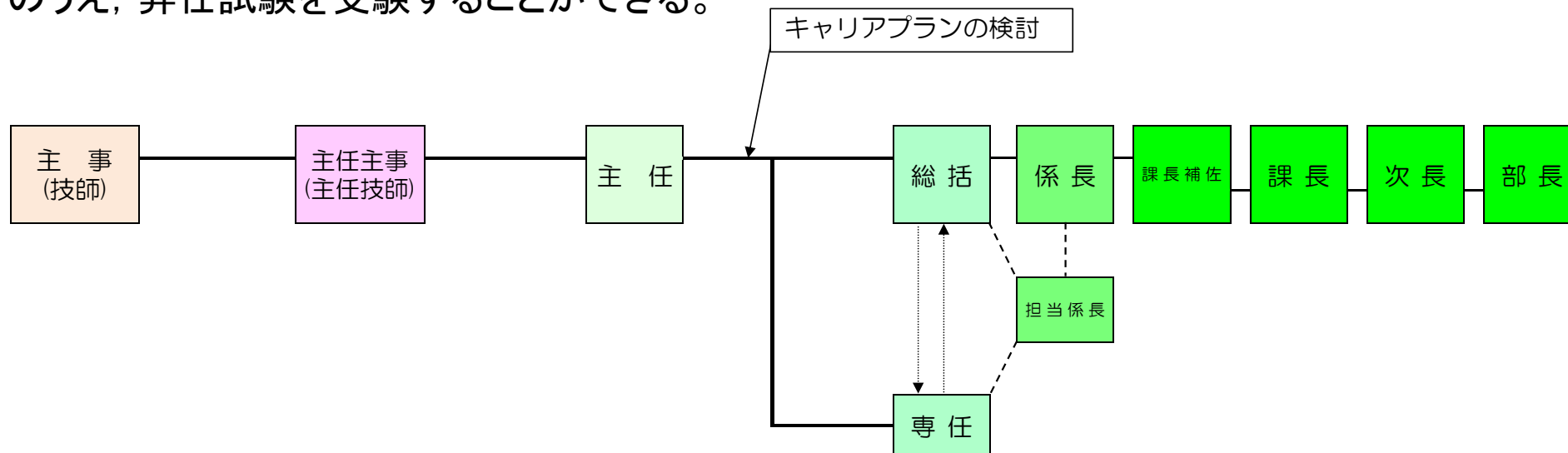
目指すべき職員像の実現に向け、社会人及び行政職員としての知識・能力を身につけるとともに、専門職として、各活動領域において求められる知識・能力を身につける必要がある。

獣医師・薬剤師の活動領域		該当課	求められる能力
指導分野・審査	許認可・監視指導 (医療監視員, 薬事監視員, 食品衛生監視員, 環境衛生監視員)	保健所総務課 生活衛生課	・関係法令等を正しく理解し, 相手方に対して適切に説明・指導できる。 ・審査基準に基づき適切に審査し, より公衆衛生の向上が図れるよう, 適切に改善を促すことができる。 ⇒専門知識に基づいた課題解決能力, コミュニケーション能力, 法務能力, 調整・折衝能力, 情報収集能力
試験分野・分析検査	分析解析, 調査研究 (感染症検査, 食品衛生検査, 環境検査, 調査研究, 研修指導, 情報発信 等)	衛生環境試験所	・関係法令や科学的根拠に基づき正確にデータを分析し, 評価を加えて依頼課に提供できる。 ・予防的, 予見的見地から試験検査や調査研究を通して知識及び技術の蓄積と向上に取り組み, 得られた知見や情報を適切に発信できる。 ⇒専門知識に基づいた科学的探究, 情報収集能力, 情報・科学技術を活かす能力, 様々な検査の手技力, 専門的な情報を分かりやすく伝える表現力と柔軟性
相談支援分野	相談対応 (医療安全, 食品安全, 動物愛護, 生活衛生分野に関する苦情や相談への対応等)	保健所総務課 保健予防課 生活衛生課 (生保, 国保)	・相談者の意図を理解し, より適切な解決手段を検討し, 提案できる。 ・地域の生活環境の課題や地域資源を明確化し, 地域組織や関係機関と連携して課題解決に向け行動できる。 ⇒専門知識に基づいた課題解決能力, コミュニケーション能力, 総合的に相談者をみる姿勢, コーディネート能力, 市民協働能力
施策分野・事業化	事業化・施策化 (事業立案, 各種行政計画の策定・改定, 予算化等)	保健所総務課 保健予防課 生活衛生課 衛生環境試験所 (生保, 国保)	・保健衛生施策を理解し, 事業を企画立案し, 予算を確保できる。 ・社会情勢や国県等の動きを把握し, 本市の保健衛生上の課題を解決するため, 自組織のビジョンを踏まえた施策を提案できる。 ⇒専門知識に基づいた課題解決能力, 情報収集力, 企画立案能力, 調整力, 折衝力
健康危機管理	健康危機への対応 (災害, 感染症, 食中毒, 毒物劇物等の健康危機発生時の対応業務)	保健所総務課 保健予防課 生活衛生課 衛生環境試験所	・健康危機発生時の未然防止に向けた体制確保や市民等への普及啓発の重要性等について理解し, 着実に対応できる。 ・健康危機発生時, 被害状況の把握や原因究明, 要因の危害を排除するための対策等を提案し実践できる。 ⇒専門知識に基づいた課題解決能力, 関係者との連携・調整能力, 危機管理能力, 行動力

3 行政職共通キャリアパス

総括・専任までは、すべて昇任試験を行う。

主任到達後は、ジェネラリストである「総括」か、特定分野のスペシャリストである「専任」を選択のうえ、昇任試験を受験することができる。



それぞれの職位に応じた、「自律・協働・共創型職員」を目指していく。				
能力育成期	能力開発期	能 力 発 揮 期		
ジョブローテーションにより多様な経験をさせ、行政の基礎的知識や基礎的能力を習得させる。	適性や能力に応じた配置を行うとともに、複雑な業務を担当させ、高度な行政事務能力を習得させる。	一般職としては、完成した能力を保有し、高度かつ困難な業務を自主的かつ主導的に行う。	一般職としては、完成した能力を有し、高度かつ困難な業務を自主的かつ主導的に行う。	適性業務や希望業務で、最大限に能力を発揮する。
			【高年齢職員（60歳以降）】 上記に加え、これまで培った豊富な知識、技術、経験等を最大限活用するとともに、次の世代にその知識、技術、経験等を継承する。	

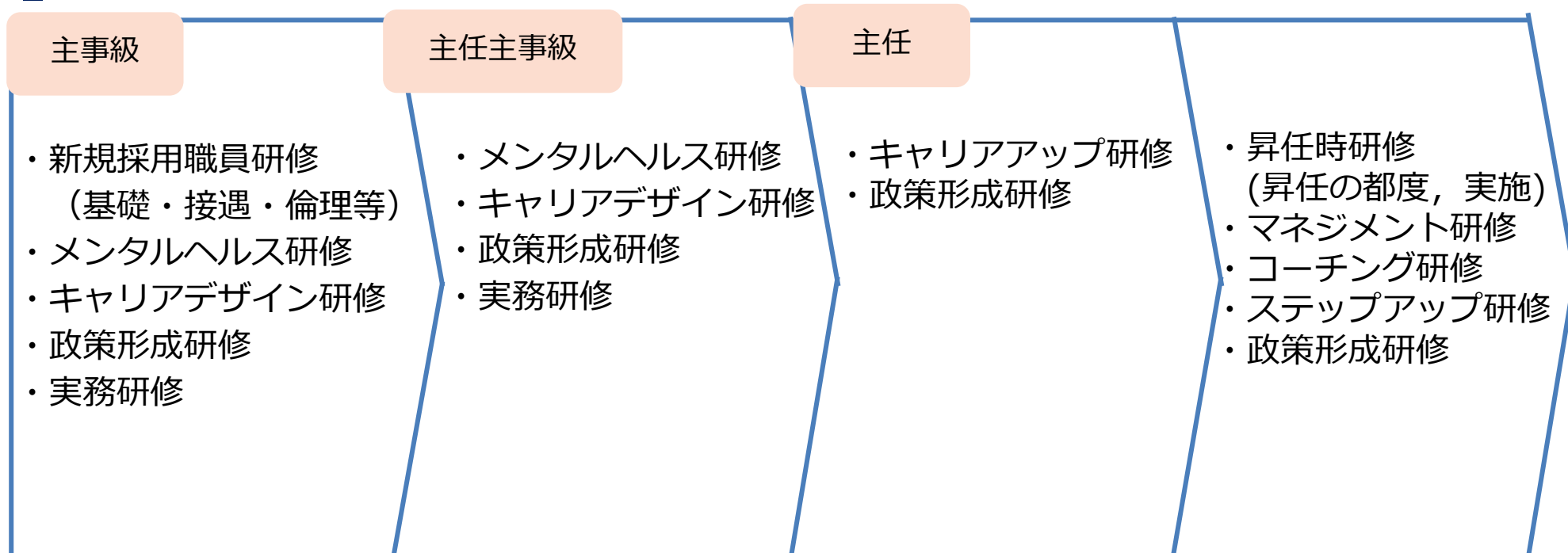
4 獣医師・薬剤師キャリアパス

獣医師 薬剤師	能力育成期（主事級） 24～29歳	能力開発期（主任主事級） 30歳～35歳	能力発揮期（主任級） 36歳～
職位ごとの能力開発の考え方	ジョブローテーションにより多様な経験※をさせ、行政の基礎的知識や基礎的能力を習得させる。	適性や能力に応じた配置を行うとともに、複雑な業務を担当させ、高度な行政事務能力を習得させる。	一般職としては、完成した能力を保有し、高度かつ困難な業務を自主的かつ主導的に行う。
※	能力育成期に、少なくとも「審査・指導系」、「試験検査分析系」または「相談支援系」の2つを経験することが望ましい。 なお、「相談支援系」「事業化・施策化系」は「審査指導系」「試験検査分析系」を経験してから経験することが望ましい。		
	審査・指導系【主な所属例：保健所総務課，生活衛生課】 法令に基づく指導監督業務，許認可業務 （医療法，医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律，食品衛生法，水道法，生活衛生関係法令などに基づく審査・指導など）⇒医療監視員，薬事監視員，食品衛生監視員，環境衛生監視員など		<検討・選択> - 総括 （マネジメント志向） 事業化・施策化系，健康危機管理系を幅広くカバー - 専任 （エキスパート志向） 審査・指導系 試験検査分析系 健康危機管理系
	試験検査分析系【主な所属例：衛生環境試験所】 感染症検査，食品衛生検査，環境検査 （感染症発生動向調査，飲料水や食品等の規格基準検査，地下水，大気，土壌等検査など）		
	相談支援系【主な所属例：保健予防課，生活衛生課，生活福祉第1課，保険年金課】 感染症や動物愛護に係る相談支援，医薬品の適正使用等健康管理支援業務など		
	事業化・施策化系【主な所属例：保健所総務課，生活衛生課，衛生環境試験所】 事業の企画化・施策化，予算の確保業務・行政計画等の策定・改定・進捗管理など		
	行政計画などの策定・改定・進捗管理業務 ⇒食品安全推進計画，衛生環境試験所運営計画など		
	健康危機管理系【主な所属例：保健所総務課，生活衛生課，保健予防課】 災害や感染症，食中毒，毒物劇物等による健康危機管理業務 ⇒健康危機発生時に係る被害状況の把握，原因究明，拡大防止，平常時における取組の検討など		★各分野を能力開発期までに経験することが望ましい。

7

5 基本研修(行政職共通)

職位ごとの主な研修



その他職員の成長を支援する取組み

●派遣研修

高度な専門知識等の習得や視野拡大のため, 海外や自治大学校, 省庁等へ派遣

●自己研修支援

オンラインによる学習や資格取得(一級建築士)など, 個人の能力開発を積極的に支援

●その他の研修

市役所で仕事をする上で必要になるための能力を身に付けるための研修

※DX研修や情報セキュリティ研修, クレーム対応力強化研修 等

6 獣医師・薬剤師研修体系

専門職として業務に求められる知識・技能を習得するため、所属研修や外部機関への派遣研修を実施している。

●所属研修

各課・所で各職位に対応した研修や、日常的に実施されている事例検討会、法令解釈などの勉強会等を実施

●職場外研修

獣医師・薬剤師として、所属業務にとらわれず関係他部署の業務について理解を深めるため職種横断研修会を開催

●派遣研修

- ・県との連携強化や県内の指導内容の統一等を図るため、各業務分野の担当者会議に出席
- ・高度な専門知識等の習得や視野拡大のため、国立保健医療科学院など外部機関へ派遣

【派遣研修の例】

業務分野	研修名	対象等	派遣期間	派遣先
指導監督	食品衛生監視指導研修	食品衛生業務5年以上の実務経験	10日間	国立保健医療科学院
	食品衛生危機管理研修	食品衛生業務5年以上の実務経験,HACCP指導経験	17日間	国立保健医療科学院
	環境衛生監視指導研修	環境衛生業務2年以上の実務経験	6日間	国立保健医療科学院
	疫学統計研修	公衆衛生等に関するデータ分析業務等に従事する者	3日間	国立保健医療科学院
試験検査	細菌研修	地方衛生研究所において細菌検査2年以上	14日間	国立保健医療科学院
	新興再興感染症技術研修	地方衛生研究所においてウイルス検査2年以上	5日間	国立保健医療科学院
	機器分析研修	実務経験が比較的浅い者	10日間	環境調査研修所
健康危機管理	DHEAT研修(基礎編)	災害時健康危機管理支援活動にあたり指導的役割を担う者	1日間	日本公衆衛生協会 (各都道府県)